

1 単 元 名 いしあつめ

2 指導要領の目標と内容

(1) 目 標

身近な自然の事物・現象に親しませ、それらを見たり試したりさせて、事物・現象の著しい特徴に気付かせるようにするとともに、自然に接する楽しさを味わわせる。

(2) 内 容

いろいろな石を集めたり、石を使った活動を工夫したりさせながら、石には、色、形、手触りなどに特徴があることに気付かせる。

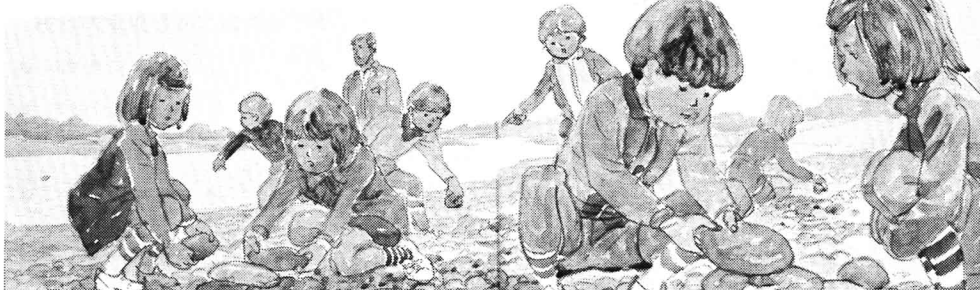
3 活 動 例

自分の好きな石を集めさせたり、石を使って自由に遊ばせたりすることにより、石になじませる。

例 1 川原で石さがしをする。

※ 予め十分事前調査をしておくこと。2、3日で一変してしまう場合が応々ある。現場でのけがは石を投げることによって生ずることが多いので、投げる活動は一斉にとるとよい。

例 2 グループで石積み競争をする。



(大日本図書)

例 3 自分で作ってみたい形に必要な石集めをする。

※ 集めることにより、石の特徴に気付く。(たとえば、まるい石がほしい。黒い石がほしいなど)

例 4 川の水際で水きりなどを経験させる。

※ 町に住む児童のほとんどは水きりができない。教えてやると興味をもつ。安全な場所を選び、他人にぶつかけたりしないように注意すること。

ころがる石やすべらせる石などの特徴をとらえさせる。

例 石を使った遊びをする。

※ 遊びの例はいろいろ考えられるが、児童が興味を持ち、学習に有効な遊びは、

- 坂を利用したボーリング
 - 石けり
 - 石の的入れ
- などである。